

平成 22 年 死亡災害発生状況（確定）

秋田労働局

| No | 署別 | 発生年月 | 業種名 | 年齢 経 験 (○年以上 ○年未満) | 事故の型 | 起因物 | 発 生 状 況 |
|----|--------|------------|---------------------------|-----------------------------|----------------|---------------|---|
| 1 | 本 荘 | H22 1月 | 畜産業 (7-1-1) | 50歳代 1年未満 | 墜落、転落 | 建築物、構築物 | 穀物の状況確認のため穀物倉庫内部を移行中に、穀物の少ない箇所へ転落し、反動で穀物が崩れ、被災者が穀物に埋もれたと推定される。 |
| 2 | 秋 田 | H22 2月 | 砂防工事業 (3-1-8) | 50歳代 20～30年 | 転倒 | 通路 | 現場事務所内での朝の打合せ終了後、約150m先にある作業現場へ向かうため鉄板上を歩行中、下り勾配の凍結箇所にて転倒し頭部を強打した。帰宅後頭部に痛みがあり、救急外来で受診したところ、頭部に出血があり手術を行ったものの、10日後に死亡した。 |
| 3 | 秋 田 | H22 4月 | 自動車 小売業 (8-2-2) | 20歳代 5～10年 | 交通事故 | 乗物 | 客先より修理の依頼を受けた乗用車を運転して帰社途中、市道上で対向車と正面衝突し、全身打撲により死亡した。 |
| 4 | 横 手 | H22 6月 | 新聞販売業 (8-2-5) | 70歳代 5～10年 | 交通事故 | 乗物 | 原付バイクで新聞配達中、幅2.1mの市道から幅4.4mの市道に右折して進入したところ、直進してきた軽ワンボックスカーと衝突した。 |
| 5 | 秋 田 | H22 6月 | 鋳物業 (1-10-2) | 30歳代 10～20年 | はさまれ ・巻き込まれ | その他の動力 機械 | 鋳型を製造する自動造型ラインのトランスファーカー付近で異常が発生したため、被災者が機械の運転を停止し、不具合箇所の点検を行っていたところ、他の作業者が機械を作動させたため、動き出したトランスファーカーに頭部付近を挟まれた。 |
| 6 | 本 荘 | H22 7月 | 河川土木 工事業 (3-1-7) | 50歳代 10～20年 | はさまれ ・巻き込まれ | 玉掛用具 | ドラグ・ショベル(クレーン仕様で作業)のクレーンフックに、ワイヤーロープ及び鉄板吊金具(以下「金具」という。)をかけて鉄板を吊り、トラック荷台から地上に降ろす作業において、鉄板の端を押さえて荷振れ防止を行っていた被災者が、トラックと鉄板の間に立ち入ったところ、鉄板が地上に降ろされた時に金具が外れトラック側に倒れたため、鉄板とトラックの間に挟まれた。 |
| 7 | 能 代 | H22 7月 | 木造家屋 建築工事業 (3-2-2) | 60歳代 1～5年 | 墜落・転落 | はしご等 | 一般住宅の屋根トタン板張替え作業のため、被災者は、一階屋根の庇(高さ3.55m)に立てかけた移動はしごを用いて、ロール状の防水シート(長さ103cm、直径17.5cm、重量23kg)を当該屋根に運搬していたところ、はしごからコンクリート地面に転落した。 |
| 8 | 大 館 | H22 9月 | 木造家屋 建築工事業 (3-2-2) | 50歳代 40～50年 | 墜落・転落 | 梁 | 木造家屋新築工事で、被災者が玄関上部の梁間に床補強のための垂木(幅4.5cm、高さ6cm、長さ1.29m)を取付けるため1階の梁上で作業中、3.18m下のコンクリート床に墜落した。 |
| 9 | 秋 田 | H22 9月 | その他の 教育研究業 (12-1-9) | 60歳代 1～5年 | 墜落・転落 | はしご等 | グラウンド内において運動会の準備のため、高さ約2mの脚立を使用して万国旗のたるみを直す作業を行っていたところ、バランスを崩して地面に墜落した。 |
| 10 | 大 曲 | H22 11月 | 土地整理 土木工事業 (3-1-9) | 60歳代 40～50年 | 交通事故 | 乗物 | 現場の仕事を終えて、事業場に帰るために事業場所有の乗用車を運転中、緩い右カーブで前方車両を追越したときに、道路左側の電柱に衝突した。 |
| 11 | 大 館 | H22 12月 | 電気通信 工事業 (3-3-1) | 40歳代 10～20年 | 交通事故 | 乗物 | 電話交換局のケーブル接続作業を終えて、事業場所有の軽自動車を運転して営業所に向かう途中、国道の緩い右カーブでスリップして対向車線に進入し、対向車と正面衝突した。 |
| 12 | 秋 田 | H22 12月 | その他の 事業 (17-2-9) | 30歳代 10～20年 | 激突され | エレベータ、 リフト | エレベーターの定期検査作業において、地震感知器の作動状況を確認するため、1階乗場の搬器の下にある機械室で作業していた被災者が下降してきたカウンターウエイトに頭部を激突された。 |

| No | 署別 | 発生年月 | 業種名 | 年齢 経 験 (○年以上 ○年未満) | 事故の型 | 起因物 | 発 生 状 況 |
|----|--------|-----------|-------------------------------|-----------------------------|------|-------|---|
| 13 | 本 荘 | H22 6月 | 一般貨物 自動車 運送業 (4-3-1) | 50歳代 5~10年 | その他 | 起因物なし | 6月21日午前5時に被災者は事業場をトラックで出発し、岩手県矢巾町の荷卸し先である物流センター近くの道路上で午前7時50分頃、トラックの車内において意識を失っているのを発見された。病院に搬送されたが、同日午前9時20分に急性心不全で死亡した。 |